

Script: 3W

はい。それでは今日のワークショップを始めます。
まずは出席をとりましょう。名前を呼ばれたら返事をしてください。マイクはオンにしておいてくださいね。

(全員ひとりひとり呼ぶ)

はい。ありがとうございました。
まず最初に皆さんに、先週説明していないことを細く説明します。

- ・キャッシュクリア
- ・目薬
- ・乗り物酔いの薬

今日は初回なので、まずこのワークショップ全体の内容について少しお話しします。

(スライドを表示)

まずは SEL について

(スライドに基づいて説明)

説明会の時もお話ししましたが、このワークショップでは、広く教室で行われている SEL-8C という標準的なテキストに基づいて行います。

ことばを変えて言えば、メタバース上で実施はしていますが、内容は一般の教室で行われていることとあまり変わりません。

どちらかというと今回の研究は、リアルな教室で行われているカリキュラムを、メタバースに持ってきても実施可能か、ということにポイントが置かれています。

ですから、VR ならではの必殺技というか、いかにも VR 的な内容や演出を期待されると、期待はずれかもしれません。

やることはリアルの普通の教室と同じ、とご理解ください。

ただし、エモートのような感情表現のスキルを使うのは良いかもしれません。皆さん自由に使ってみてください。

みなさんエモートの練習はしましたっけ？

(エモートの練習をしていない組は、メニューからの出し方を説明したあと、短時間練習)

さて、ワークショップの全体のスケジュールはこんな感じになっています。

今日はワークショップの第 1 回ということで、こうして全体のガイダンスと、あと「基本的生活習慣」、具体的にはあいさつなどについてあつかいます。

第 2 回は、自己や他者について新たな気づき、そして他の人の話を聞くというスキルについて考えて、練習をします。

第 3 回のテーマは、自分の考えや気持ちを他の人に伝えるスキルについて扱います。

第 4 回は、他の人と人間関係を築くプロセス、トラブルの回避などについて考えます。

第 5 回は、さまざまなストレスにどのように対処していくかのスキルを勉強します。

最終回は、第 8 週ですが、この場でこのようにして皆さんに集まっていただいて、全 5 回のワークショップを振り返るグループインタビューを行います。

なお、時間は余裕を持って設計しているのでフルに 90 分とか 100 分とかかかる回はない予定です。例えば今日は比較的短時間で終わると思います。

もしも VR の中にいる時間が 60 分を超えそうな見通しであれば、途中で一回休憩を入れます。

ここまでで何か質問のある方はいらっしゃいますか？

(質問を受ける)

(スケジュールの表の表示を止める)

さて、それでは早速今日最初の練習「休憩をとってまた戻ってくる」を行います。

これから 10 分間休憩をします。

各自ホームに戻ってから、ゴーグルをとって少し目を休ませてください。

トイレなどにいきたい人はどうぞ。

5 分くらい過ぎた頃から、またミーティングスペースへの招待状を送りますので、またメニューの「メッセージ」から招待状を受け取って、ミーティングスペースに戻ってきてください。

それでは休憩に入ります。

(5 分)

(後半のミーティングスペースへの招待状を送る)

はい。みなさん戻ってきてくれましたね。

それでは、今日の後半、ワークショップに入っていきたいと思います。

最初のテーマは「あいさつ」です。

初対面の人には挨拶をしますね。あいさつや自己紹介はとても大事です。
そこでまず初対面の人へのあいさつを学びます。

よく「初対面のあいさつは大切だ」と言いますね。それはなぜだと思いますか？
(Listen)

そうですね。初対面での挨拶は第一印象を決める重要な要素です。
また挨拶はコミュニケーションの始まりです。
印象のよいあいさつをするために大切なことはどのようなことだと思いますか？
(Listen)

では「あいさつのポイント」をまとめます。

(ポスターを表示する)

「『おかめのあいさつは自分から』と覚えます。

お: 大きな声ではっきりと

か: 体を起こして

め: 相手の目を見て

自分から: 自分から

このポスター見たことある人、いますか？
(Listen)

はい。では是非今日覚えて帰りましょう。

(非言語)

(二言あいさつ)

「おはようございます。昨日はご苦労様でした。」

「こんにちは。先日はありがとうございました。」

さて挨拶と一緒に自己紹介をすることもありますね。

特に初対面の人には自己紹介をします。

なぜ自己紹介をするのでしょうか？また、どんなことに気をつけたらよいですか

(Listen)

自分の名前を覚えてもらう「自己紹介のポイント」をまとめます。

(スライドを表示)

名前だけでなく、自分を知ってもらえる一言を加えると、とてもいい自己紹介になります。

例えば自分の特徴や、趣味などがありますね。

それでは、どのようなあいさつや自己紹介がよいか、今から実際やってみますので、それをみて考えてみましょう。

それでは、2つの例を行います。場面は、会社訪問に行った学生が、会社の担当者の方と会ったところです。

まず1つ目の例をやってみます。

あなた、Bさんの例をやってみてもらえますか？

(スライド)

今の例を見て、気付いたところを言ってください。誰からでも結構です。

(Listen)

はいそうですね。今の例の挨拶や自己紹介は、相手に与える印象は良くないですね。

では2つめの例をやってみます。

あなた、Bさんの例をやってみてもらえますか？

(スライド)

こちらでも気付いたところを言ってください。誰からでも結構です。

(Listen)

そうですね。2 つの例を比べるとよくわかると思いますが、良い例は、先ほど学んだあいさつのポイント「”おかめ”の挨拶は”自分から”」を使った印象の良い挨拶や自己紹介でしたね。

それでは次に、よい挨拶と自己紹介の方法を身につけるために、ロールプレイをやってみましょう。みなさん椅子から立ってください。

3 人組で行います。

では、シナリオをつかって、あいさつ、自己紹介について練習してみましょう。

(スライド)

3 人 1 組になって、役割を決めてください。あとで役割は交代します。

では役割に従ってロールプレイを行いましょう。観察者の人は、ロールプレイ中の生徒の役割の人について気がついたことを覚えていてください。そしてシナリオが終わったら、生徒役の人にフィードバックをしてください。

それでは役割を交代します。

それではみなさん椅子に座ってください。

今日は、初対面のひとに対するあいさつや自己紹介の仕方を学びました。ポイントを使って気持ちの良い挨拶ができるようになりますように。

今日のエクササイズはこれで終わりです。

(スライド)

次回は「自己、他者への気づき、聞く」をテーマに行います。

何か質問や意見はありますか？

それではみなさん、メニューの右端からホームを選んで、ホームに戻って、Quest 2 を脱いでください。そして機材はそのまま机の上に置いて、本日は解散して下さって結構です。

気分の悪くなった人や、ドライアイ気味になった人は、机の上にある薬などを自由に使ってください。

それでは終了です。お疲れ様でした。